

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和4年度
------	-------

## 1 基本情報

公の施設名	杜のホールはしもと、城山文化ホール
指定管理者名	公益財団法人 相模原市民文化財団
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立杜のホールはしもと条例、相模原市立城山文化ホール条例
施設の設置目的	杜のホールはしもと：市民が音楽、演劇等の芸術文化を鑑賞することができる機会及び市民が自ら芸術文化活動を実践することができる場を提供し、もって豊かな市民文化の創造に寄与するため 城山文化ホール：市民が行う様々な文化芸術活動及び交流活動を通して、豊かな市民文化の振興に寄与するため
施設概要	杜のホールはしもと ・所在地 相模原市緑区橋本3-28-1 ・敷地面積 8,626.18㎡ ・延床面積 9,601.10㎡(うちホール専有面積 6,638.14㎡) ・構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下2階地上9階建(内ホール部分：7～9階) ・主な施設 7階 ホール(定員535人：固定席531席、車椅子席4席)、セミナールーム1 8階 多目的室(移動席200席)、練習室1～3、音楽スタジオ、セミナールーム2  城山文化ホール ・所在地 相模原市緑区久保沢2-26-2 ・敷地面積 2,646.05㎡ ・延床面積 1,395.99㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上2階建て ・主な施設 多目的ホール(可動席296席、段床式ホール又は平土間形式として利用可能)、楽屋1・楽屋2、リハーサル室、ギャラリー、併設駐車場
施設所管課	市民局文化振興課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	177,316	173,656	147,816	42,709	78,317	111,645	
利用料金合計(円)	75,786,811	77,388,229	68,726,962	30,967,962	68,856,531	79,855,444	

### 3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>C</b>	<p>指標1と指標2の達成度の平均が88.9%となることからC評価とする。 来場者満足度は実績値が昨年度より3ポイント低下しているが、2番目に高い満足度を含めると98.2%となり、満足度は低くはないといえる。 利用率については、目標には達しなかったものの、昨年度より7ポイント増えており、コロナ前に近い水準まで回復させている。</p> <p><b>【委員会意見】</b> 成果指標は新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減等を見込んでいない数値のため、目標を下回りC評価となっているが、令和2年度に落ち込んだ利用率をコロナ前に近い水準まで回復させており、大いに評価できる。事業満足度は来場者アンケートの評価が上がりにくいコンクール形式の事業が複数回あることに起因しており、やむを得ない面もある。</p>

指標 1	
指標名 (単位)	企画提案文化事業来場者の満足度(%)
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度(「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合)を成果指標とする。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)			76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値 (%)	77.5	74.6	66.9	59.9	67.2	64.2	
達成度 (%)			88.0%	77.8%	86.2%	81.3%	0.0%

※ (参考) 2番目に高い満足度を含めた場合 (とても満足 + 満足)

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値 (%)	97.9	98.7	97.9	98.4	98.3	98.2	

指標 2	
指標名 (単位)	※感染症蔓延に伴う外出自粛等の影響を受けているため、R3年度は評価対象外とする。 社のホールはしもと(ホール、多目的室)及び城山文化ホール(多目的ホール)の平均利用率(%)
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用日数・利用可能日数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	75.0	76.0	83.0	83.0	84.0	84.0	84.0
実績値 (%)	81.9	85.0	83.6	58.3	74.1	81.1	
達成度 (%)	109.2%	111.8%	100.7%	70.2%	88.2%	96.5%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	協定で定める内容、実施回数を満たしており、基準点に対する実績点の割合が100%となっていることからA評価とする。 <b>【委員会意見】</b> 音楽振興と伝統芸能に軸足を置いた事業展開がなされ、文化芸術振興に寄与している。

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			/

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等					評価
各施設の規模及び地域性を生かし、伝統文化や優れた芸術作品を鑑賞する機会を市民へ提供する舞台芸術公演事業（15回以上）		杜のホールはしもと:18回 城山文化ホール:7回 計25回					○
		種別	会場	定員	回数	参加者数	
0さいからの絵本deクラシック 「プレーメンの音楽隊」	6月18日(土)	クラシック	杜のホールはしもと ホール	513 513	2回	429人 241人	/
シリーズ杜の響きvol.46 宮田大 & 福岡光太郎 デュオ・リサイタル	7月9日(土)	クラシック	杜のホールはしもと ホール	535	1回	510人	/
六代目神田伯山 独演会	7月13日(水)	伝統芸能	杜のホールはしもと ホール	535	1回	500人	/
本條秀慈郎 三味線演奏会	11月6日(日)	伝統芸能	杜のホールはしもと ホール	401	1回	240人	/
第22回 さがみはら若手落語家選手権 第1回予選会	1月14日(土)	伝統芸能	杜のホールはしもと 多目的室	180	1回	121人	/
第22回 さがみはら若手落語家選手権 第2回予選会	1月29日(日)	伝統芸能	杜のホールはしもと 多目的室	180	1回	127人	/
第22回 さがみはら若手落語家選手権 第3回予選会	2月12日(日)	伝統芸能	杜のホールはしもと 多目的室	180	1回	125人	/
第22回 さがみはら若手落語家選手権 第4回予選会	2月25日(土)	伝統芸能	杜のホールはしもと 多目的室	180	1回	149人	/
シリーズ杜の響きvol.47 川口成彦フォルテピアノ・リサイタル	3月4日(土)	クラシック	杜のホールはしもと ホール	535	1回	496人	/
第22回 さがみはら若手落語家選手権 本選会	3月19日(日)	伝統芸能	杜のホールはしもと ホール	535	1回	366人	/
もみじホール城山 開館10周年記念 城山落語会 瀧川鯉斗・春風亭昇々二人 会	5月14日(土)	伝統芸能	城山文化ホール 多目的ホール	298	1回	195人	/
相模原音楽家連盟×もみじホール城山 ～ピアノトリオって華やか！～	2月18日(土)	クラシック	城山文化ホール 多目的ホール	298	1回	160人	/

市民自らが芸術文化活動に参加し、相互に交流できる機会を提供するなどの市民の自主的な活動の支援に関する事業(3回以上)	社のホールはしもと:18回 城山文化ホール:11回 計29回					○
	種別	会場	定員	回数	参加者数	
文化庁 令和3年度第一次補正予算事業「子供たちの伝統文化の体験事業」はじめての伝統芸能 子どものための三味線ワークショップ	8月3日(水)	伝統芸能	社のホールはしもと多目的室	5	2回	4人
				5		5人
出前落語及び八起寄席連携事業	9月19日(月)	伝統芸能	ポーナビール二本松ケアセンター		1回	50人
	10月6日(木)	伝統芸能	くうちやんずハウス		1回	25人
	11月19日(土)	伝統芸能	原宿自治会館		1回	53人
	12月26日(月)	伝統芸能	民間学童保育わんぱくクラブ		1回	14人
	1月21日(土)	伝統芸能	オラリオンサイト		1回	42人
	3月20日(月)	伝統芸能	八起寄席実行委員会		1回	145人
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう! vol.1	5月26日(木)	クラシック	城山文化ホール多目的ホール	7組	1回	11人
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう! vol.2	7月26日(火)	クラシック	城山文化ホール多目的ホール	7組	1回	18人
もみじホール城山開館10周年記念 市民ステージ2022 音楽部門	9月23日(金祝)	その他	城山文化ホール多目的ホール	298	1回	156人
もみじホール城山開館10周年記念 市民ステージ2022 ダンス部門	9月24日(土)	その他	城山文化ホール多目的ホール	298	1回	477人
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう! vol.3	9月27日(火)	クラシック	城山文化ホール多目的ホール	7組	1回	8人
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう! vol.4	11月10日(木)	クラシック	城山文化ホール多目的ホール	7組	1回	12人
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう! vol.5	1月26日(木)	クラシック	城山文化ホール多目的ホール	7組	1回	11人
世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう! vol.6	3月11日(土)	クラシック	城山文化ホール多目的ホール	7組	1回	25人
	3月12日(日)			7組	1回	32人

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
自動販売機設置	4月から1年	社のホールはしもと:5台 城山文化ホール:2台 計7台	○

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<p>達成度が109.2%となっていることからA評価とする。 回答者の98.3%が満足度がふつつ以上であると回答しており、円滑な施設運営がなされていると評価できる。</p> <p>【委員会意見】 適正な管理がなされている。</p>

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	<p>調査手法:利用者へのアンケート用紙配布 調査時期:令和4年7月1日(金)~7月31日(日) 配布枚数:杜のホールはしもと 185枚(回収枚数185枚、回収率100.0%) 城山文化ホール 46枚(回収枚数46枚、回収率100.0%)</p>
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」、「ふつつ」と回答した方の割合の合計

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値 (%)	95.0	95.8	98.6	99.0	98.3	98.3	
達成度 (%)	105.6%	106.4%	109.6%	110.0%	109.2%	109.2%	0.0%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	施設にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については会議で共有を図り、対応に努めている。
ホームページお問い合わせフォーム	通年	施設のHPIにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取り組みを行っている。

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	<p>全体収支、本体収支がともに赤字、指定管理者本体の決算も赤字となっており、経営状況に若干の懸念があることからC評価とする。 施設収支については、原油価格や物価が大きく上昇したことに起因するもので、やむを得ないものと考えらる。</p> <p>【委員会意見】 指定管理者本体の経営状況について、主要事業の公益事業で赤字となっているため若干の懸念はあるが、内部留保が厚く、現時点の財務状況を良好である。</p>

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入 (a)		222,125	242,411	232,605
	指定管理料	142,510	136,865	131,339
	利用料金収入	30,968	68,856	79,855
	その他の収入	48,647	36,690	21,411
支出 (b)		203,098	225,060	238,182
	人件費	68,718	72,568	73,867
	本社管理経費	6,186	6,158	6,466
	その他の支出	128,194	146,334	157,849
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		19,027	17,351	-5,578
自主事業収入 (d)		1,330	859	1,149
自主事業支出 (e)		1,127	361	439
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		203	498	709
全体収支 【(c)+(f)】		19,230	17,849	-4,869
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和5年2月15日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

施設の設置目的や、条例等を十分に理解し、適切な施設利用事務を行い、施設の催し物の情報や空き日の情報をホームページで公開するなど利用者増加に努め、これまで同様に多くの方に利用いただいている。また、施設や設備を保つために日常管理を行うとともに、定期点検を計画的に実施し、安全な施設を維持することができた。

また、今般の原油価格・物価高騰の影響が大きかったが、相模原市の指定管理者制度導入施設支援金を受け、利用者に影響なく施設を稼働させることができた。

施設利用にあたっては、国や県、相模原市の利用条件に基づき、感染拡大防止策（「ホール等施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」）を定め、利用者への周知を行い、コロナ禍においても安心して施設をご利用いただける体制とした。

施設内の消毒や公演の際に感染対策の案内を徹底するための人員を配置するなどの感染対策を図った。これらの、新型コロナウイルス感染症対策については、相模原市の指定管理者制度導入施設コロナ対策事業補助金等を活用して行った。

事業実施にあたっては、感染症対策を十分に施した上で、施設ごとの特徴をふまえた事業展開を図ることができた。杜のホールはしもとでは、響きの良さを活かした本格的クラシック事業「シリーズ杜の響き」として、「第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位」を受賞した邦人の古楽器奏者としては最も注目される存在である川口成彦氏によるシリーズ初のフォルテピアノによるリサイタルを開催した。0才から入場でき家族で楽しめる「0さいからの絵本deクラシック」、来場者の投票によって優勝者を決定する「さがみはら若手落語家選手権」など、ホールと多目的室の特徴を活かした公演を実施した。

城山文化ホールでは、例年無料で実施し人気の高い「在日米軍軍楽隊コンサート」、クラシック入門編としての「相模原音楽家連盟×もみじホール城山～ピアノトリオって華やか！～」、毎回定員を超える応募で人気の「世界3大ピアノのひとつ、ベヒシュタインを弾いてみよう！」など、文化を身近に感じていただける事業を実施した。

また、開館10周年記念事業として、「城山落語会 瀧川鯉斗・春風亭昇々二人会」や「神奈川県民ホール県域巡回事業 みんなでたのしみオペラ『ヘンゼルとグレーテル』」、「市民ステージ2022」など多彩な公演を実施した。

また、過年度における利益を財源に、杜のホールはしもと9階電気室空調機更新修繕（5,412,000円）や城山文化ホール掲示板設置（568,700円）を実施し、良質な施設環境整備において市民への還元を行うことができた。

## 10 所管課意見

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に利用率が大きく落ち込んだが、令和4年度はコロナ前に近い水準まで利用率を回復できており、運営努力が成果として現れている。

事業については、特に杜のホールはしもとの集客が安定して高く、ニーズを捉えた企画がなされていると評価できる。城山文化ホールにおいては周年事業を実施いただき、施設のPRと鑑賞機会の充実を図っていただいた。両施設とも事業満足度は改善の余地があるので、分析の結果を事業の見直しに反映させていただきたい。

施設の収支は赤字となっているが、急激な原油、物価の高騰に起因する避けられないものであり、経費節減等により赤字額を抑えていただいたと考えている。

令和4年度は前年度までの利益を活用し、杜のホールはしもとの空調機の更新や城山文化ホールの入口にポスター掲示板を設置しており、施設の環境整備にも大きく貢献いただいた。

## 11 選考委員会意見

施設の特性を踏まえた運営がなされており、利用率をコロナ前の水準まで回復できていることを大いに評価する。利用者アンケートの回答に基づき、備品交換を実施するなど、利用者対応も適切に行われている。

事業については、音楽と伝統芸能を織り交ぜた事業展開となっており、主要事業の一つであるシリーズ杜の響きは優れた芸術の鑑賞機会を市民に提供する場となっている。長年継続している落語家選手権は地域に根付き、観客が育ってきているが、それゆえに落語家選手権の事業アンケートの満足度が伸びにくくなっているようにも見受けられる。コンクール形式の事業の満足度を伸ばすことは難しいと推察するが、指標の一つになっている事業満足度の達成度の改善は課題であるので、工夫して向上を図っていただきたい。

城山文化ホールの事業の来場者の年齢層は他の施設に比べ高い傾向があるので、平日昼間に高齢者をターゲットとした事業を実施するなど、地域特性を踏まえ、潜在的な需要を掘り起こしていくことが求められる。

経営面については、光熱水費や物価が上昇する中で難しさはあるが、予算を意識し、黒字化していくことが重要である。

